

笑顔いっぱい 清里っ子

学校便り 第2号

もりやま まさのり
文責 森山 資典

1年生歓迎集会 4月17日(土) 1年生の歓迎集会を行いました。新型コロナウイルスの感染防止のために入学式は、全児童が参加できなかったもので、1年生を全学年そろって歓迎する集会でした。晴天ならば、水野公園へ遠足に行って公園で歓迎集会をする予定でしたが、あいにくの雨のために体育館で行いました。総務委員会の司会進行で1年生を笑顔の拍手で迎え入れ、1年生の自己紹介から始まりました。つづいて2～5年生が歓迎の出し物を披露して、6年生が1年生にわかりやすく学校の行事を教えてくださいました。そして、愉快的ヒント形式での先生方の紹介とショートダンスでみんなを楽しませてくれました。遠足には行けませんが、笑顔いっぱいの楽しい1年生の歓迎集会ができました。

4年生が梨の学習を始めました。 4月23日(金)

4年生が総合的な学習で荒尾の特産品である梨の学習を始めました。毎年、校区の徳山果樹園とてもお世話のなりながら学習をしています。徳山果樹園は、3年生の徳山蒼空くんと1年生の蒼真くんの祖父が経営されていて、新高をはじめ幸水や豊水、あきづき、秋麗などたくさんの種類を広い農園で栽培されています。25年前からボランティアで、「清里小の木」として新高梨をご提供いただき、園内で育ててくださり、毎年4年生の子どもたちに学習させていただいています。とてもありがたく、尊いご協力です。徳山さんは、荒尾梨の学習を通して、ふるさと荒尾を愛し、誇りを持って生きる人に育ってほしいと話されました。私は、その思いや長年の取組に感動しました。この日は、園内の梨の木と荒尾梨の種類や、たくさんなり始めた清里小新高梨の実の摘果の仕方をわかりやすく教えてくださいました。そして、子どもたちは実際に摘果作業をさせていただきました。摘果したまだ小さく緑色の実を興味津々で子どもたちとかじってみました。あの新高梨の味とは違い、渋い味でした。これから収穫される日まで、お日様や自然の力と徳山さんたちのお力をいただいてあのおいしい新高梨に育つのだと思いました。心から感謝して、4年生の子どもたちと荒尾の誇り荒尾梨の学習をして、秋には愛情と誇りのこもった新高梨が収穫できるようにがんばります。



交通安全教室 4月28日(水)



子どもたちが、毎日の登下校や地域で交通事故から命を守るために荒尾市役所と日頃から地域で子どもたちを見守っていただいている交通安全指導員の方々に来校していただき、交通安全教室を実施しました。1・2年生は、左の写真のように実際に郊外に出て、横断歩道の渡り方や道路の歩き方を学習しました。1年生は、それぞれが園に3月までは車で送迎してもらっていて、4月からは歩いて登下校

しています。登校班での登下校時は、上級生たちが一緒なので集団で交通事故から身を守ることができますが、下校時は1年生だけで帰ることもあり、一人ひとりが自分で自分を守らなければなりません。とても大事な学習でした。実際、学校前の横断歩道を渡ろうとして、子どもたちが待っている時に、1台の自動車が止まらずに通過しました。道路交通法では、自動車は横断歩道で歩行者が待っている時は必ず停車して、歩行者が横断するのを待たなければならないと決まっています。もしも、子どもたちが横断していたらとても恐ろしいことになっていました。交通安全指導員の方も恐怖と怒りを感じていらっしやいました。とても危なかったです。私も子どもたちに「さっきのは、とても怖くて危なかったね。横断歩道では、自分が渡る信号が青になっても、必ず車がいないか、止まってくれたかを確認してから渡るようにします。」と指導しました。私は、車を運転する時に横断歩道で立ち止まっている歩行者がいると停車しますが、対向車があると止まってくれるか心配になります。先日も、八幡小の近くの国道にある横断歩道で、立ち止まっている人がいたので停車しました。私の車が止まったのに気づいた人が横断歩道を渡ろうとしたところ、対向車線の車が歩行者に気づかずに通過しようとして危うく事故になろうとしました。幸いに急ブレーキで停車できてその人は無事でしたが、とても怖いと思いました。法律では決まっていますが交通事故は起きてしまいます。まず、自分の命は、自分で守らなければならないと思います。どうかご家庭でも子どもたちに交通事故に遭わないようにご指導をお願いいたします。3～6年生は、自転車の安全点検の仕方や安全な乗り方を学びました。道路を歩くこと以上に自転車で通行するのは危険がともないます。特に、3年生からは、地域内（自宅のある行政区内）を自転車で乗れるようになります。そこで、安全に自転車に乗れるように交通安全指導員の方から子どもたちが自分で自転車の安全点検ができるようにと指導していただきました。その後、運動場内に用意していただいた安全運転のためのコースを子どもたちは真剣に運転練習していました。実際の道路で自転車運転が安全に走行でき、楽しく自転車に乗れるように心から願います。この交通安全教室で学んだことで子どもたちの命が守られますように願うとともに、これからも繰り返し指導していきます。どうかご家庭や地域でもご指導いただきますようお願いいたします。

避難訓練

～ 震災から命を守るために ～ 4月28日(水)



大災害をもたらした、東日本大震災から10年、平成28年熊本地震から5年が過ぎました。多くの命が奪われ、家が壊され、未だ復興の途中です。災害は、いつ起こるか分かりません。震災から命を守るために今私たちができることとして、本校でも全児童と職員で避難訓練を実施しました。2時間目に、緊急地震速報を放送で行い、教室でゆれがおさまるまで安全を確保して待ち、ゆれがおさまったらみんな体育館へ避難する練習をしました。子どもたちは静かに避難して体育館に集合しました。そして、安全教育担当の肥田先生から、いかなる事態に対しても、安全に行動できる技能及び態度を養うための学習をDVDを視聴しながら指導してもらいました。私も子どもたちにスライドを見せながら「自分の命は自分で守る 人の命はみんなで守る」を合い言葉にして、自助・共助・公助の話をしました。何よりも大切な命を守り生きるために子どもたちに判断力と行動力を身につけてほしいです。ご家庭でもご指導をお願いいたします。